

教科	技術・家庭科（技術分野）	学年	第 3 学年	技術分野担当	奥田 邦弘
----	--------------	----	--------	--------	-------

【教科目標】

生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

【使用教科書・教材等】

教科書 新編「新しい技術・家庭（技術分野）東京書籍」

【学習計画】

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1 学 期	エネルギーの変換と利用 ・電気エネルギーの変換と利用法 ・機器の安全な使い方	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中でのエネルギー利用と現状、環境に関わる現状がわかる。 電気の発電の現状と課題がわかる。 電気エネルギーの変換と利用方法がわかる。 電力や定格など、生活の中での安全な電気の使い方がわかる。 電気による事故を防止するしくみや安全に使う方法を身につける。 	教科書 ノート ファイル
2 学 期	製作品の設計・製作 エネルギー変換を利用した制作品を作ろう ・実習 電気に関する作品の製作	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー変換の仕組みを理解できる。 動きを伝達する仕組みを理解して、作品に仕上げることができる。 機器を安全に使用するための整備・点検方法を理解する。 	教科書 ノート ファイル はさみ ナイフ のり等
3 学 期	エネルギー変換技術 ・評価・活用	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーの有効利用について知る。 環境に配慮した発電の方法について知る。 学んだことを将来にいかそうとする。 	教科書 ノート ファイル

【評価の観点と評価の方法】（通知表のつけ方）

評価の観点	生活や技術への関心・意欲・態度 25%	生活を工夫し創造する能力 25%	生活の技能 25%	生活や技術についての知識・理解 25%
評価の観点の趣旨	授業への参加態度・意欲、提出物の内容等、積極的に取組、努力しているか。	生活を振り返りながら課題を見つけ、その課題を解決しようと考え、よりよい方法を工夫しているか。	学習したことに基づき、適切に判断し生活に生かせるよう実践できるか。	学習の内容を整理し、理解しているか。
評価の方法	授業の準備 発表等の授業態度 ノート等提出物の提出状況	授業（実習）の様子 レポート 提出物等	実習の様子 作品 提出物等	定期テスト 提出物等

【授業の受け方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- ・教科書・ノート・ファイルなど準備物を忘れず、授業に集中できる態勢を自分で作りましょう。
- ・質問や考えたことを積極的に発言し、他の人の意見も大切にしながら授業内容の理解を確かなものにしましょう。
- ・プリントやファイル、作品の提出期限を守りましょう。
- ・ノートはしっかり取り、分かりやすいノートを作りましょう。
- ・プリント等の課題にまじめに取り組みましょう。
- ・基本的な技能を身に付け、工夫して作品が完成できるように実習に根気よく取り組みましょう。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- ・実際に授業で学んだことを、普段の家庭生活の中で工夫し、活かしていけるようにしていきましょう。特に自分から進んで家の人の手伝い等をしていくことが大事です。
- ・環境や最新の技術の話題等に関心を持ったりして、よりよい生活ができるように知識と技を身につけていきましょう。